

青年海外協力隊で経験をしたこと

ガーナ共和国で
ボランティアとして
理数科教育に携わって

徳島県 上板中学校 梯 泰三

内 容

1. 自己紹介
2. 任国ガーナ 任地タマレ
3. チョコレートの国ガーナ！？
4. なぜ、青年海外協力隊に参加したのか
5. 要請と活動
6. 授業の様子
7. タマレの学校
8. タマレの教員
9. タマレの生徒
10. 今後できること

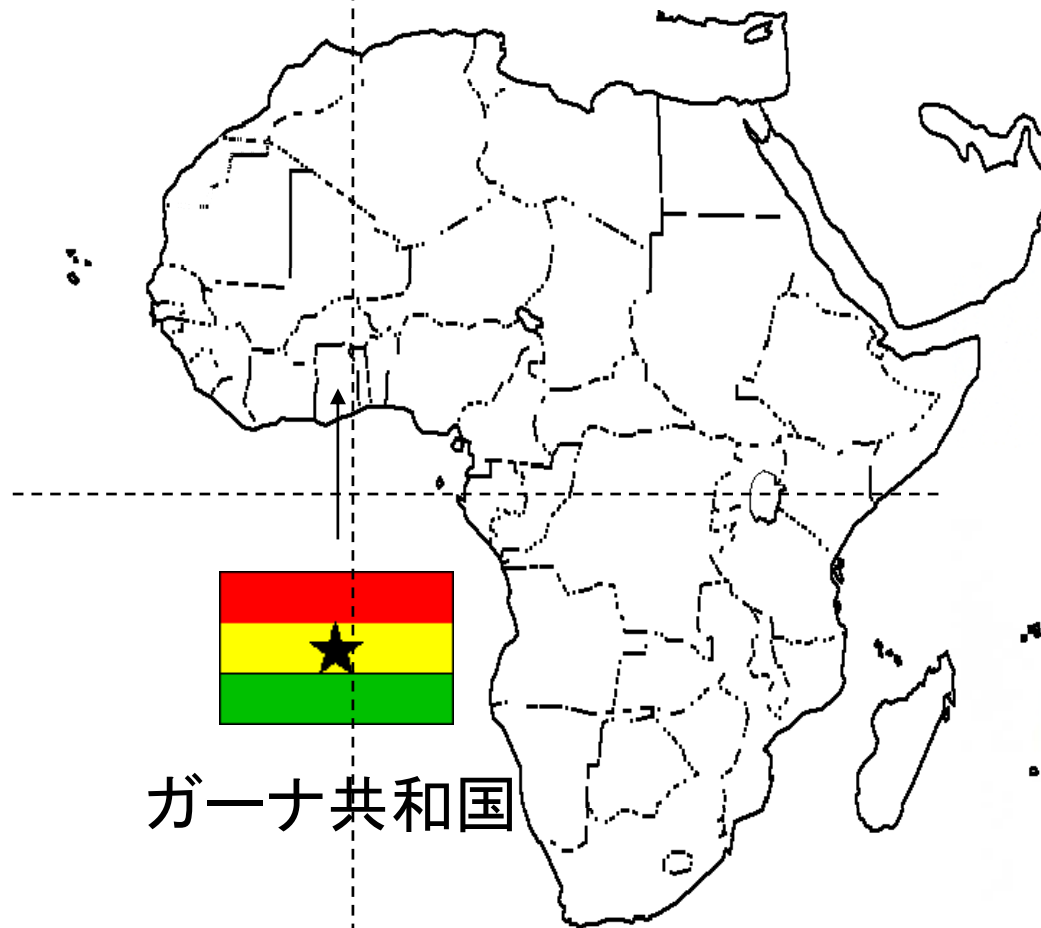
1 自己紹介

- 平成17年度1次隊
 - 派遣国 ガーナ共和国
 - 職 種 理数科教師
 - 配属先 タマレ市教育事務所
 - science and mathematics volunteer officer
- 徳島県上板中学校に勤務
 - 1学年担任
 - 数学
 - 陸上部



2 任国ガーナ 任地タマレ

任地
タマレ



ガーナ共和国



首都
アクラ

3 チョコレートの国ガーナ！？

- チョコレートの生産量と消費量

- 国際菓子協会 2004年

● 1位	アメリカ	1, 500, 935トン	1, 556, 175トン
● 2位	ドイツ	1, 075, 965トン	917, 905トン
● 3位	イギリス	475, 410トン	556, 720トン

- カカオの生産量

- 外務省 2007年

● 1位	コートジボアール	127, 6000トン
● 2位	ガーナ	60, 0000トン
● 3位	ナイジェリア	18, 0000トン

4 なぜ、青年海外協力隊に参加したのか

- ボランティア活動に興味を持っていたから
- 教科指導や生徒指導での悩みがあったから
 - 環境の違う学校(海外の学校)でどのような教育を行っているのかを知り、自分自身の指導に役立てたいと思った
- 人々との出会いや触れ合いを求めて
- 青年海外協力隊の説明会での一言
 - 世の中で最も教育環境が整っていない所に真っ先に行くのが教師の務めではないか

5 要請と活動

- 要請 ガーナ初の巡回型理数科隊員として
 - タマレのSTMプロジェクトに関連した要請
 - STMを草の根レベルで支援するために
- 主な活動
 - 小中学校での理数科の授業
 - 教員の指導力向上
 - 生徒の理数科の学力向上
 - ワークショップの開催
 - 指導主事の指導力向上
 - 理数科隊員の研修の場
 - 他国のボランティアとの交流の場

6 ワークショップでの授業



7 タマレの学校

- タマレは東西南北に30km
 - 小学校250校 中学校70校
 - 担当は小学校80校と中学校20校
- 学校間の格差がある
 - 人材の面で
 - 施設や設備の面で



村の学校

同じタマレの学校なのに
校舎がかなり違っている



日本の援助で建てられた小学校

私の勤務していた学校



学校までの風景



8 タマレの教員

- 基礎的な計算ができない
- 用語を正しく理解していない
 - 正方形を長方形 直方体を長方形
- 経験の不足
 - 教材や教具に触れたことがない
- 離職する人が多い
 - 高い収入を求めて転職

指導力不足



$$\frac{2}{3} - \frac{1}{2} = \frac{3}{6} - \frac{4}{6} = \frac{(3-4)}{6} = \frac{1}{6}$$

9 タマレの生徒

- 低い就学率
 - 小中学校の就学率は50%
- 健康
 - マラリアやコレラやポリオ
 - 栄養不足
- 長所は
 - 明るく 礼儀正しい
 - 働き者
 - 高いコミュニケーション能力



教育を十分に受けられない

10 今後できること

- 国際理解教育や人権教育を通じて
- 国内でのボランティア活動
- 奨学金への協力
- JOCVやSVへの参加

ありがとうございました

